

## 2 終了時評価調査票

### (1) プロジェクトの経緯概要

<p>1. 要請の内容と背景</p> <p>(1) 要請発出</p> <p>(2) 内容と背景</p>	<p>1990年7月10日</p> <p>スリ・ランカ政府は地域開発計画の重要性に基づき、1979年から農業総合開発事業(Integrated Rural Development Project : IRDP)に着手し、以後16の県で事業を展開している。</p> <p>しかし、同国では1980年代に起きた民族抗争による政情不安の結果、市場の需給バランスが崩れ、特に都市近郊地域において食品価格の高騰、高失業率等が見られる。また、農業の生産性は低下し、工業セクターは伸び悩んでいる。</p> <p>首都コロomboの北に隣接するガンパハ県は、面積1,399km<sup>2</sup>、人口17.24百万人(1991年時点)を有し、県の南部および西部は工業投資促進地域であり、国内最大の工業地帯となっている。スリ・ランカの低地湿潤地帯に属するガンパハ県は農用地が総面積の57%を占めており、その生産は飯米用の水稻と伝統的な換金作物であるココナツを中心に行なわれているが、その生産性は低く、他県より農産物が移入されている現状にあった。</p> <p>このような現状より、同国政府は我が国に対し「ガンパハ県農村総合開発計画」の策定を要請し、これを受けて1987年にマスタープランが策定された。その後、本マスタープランに基づき、同国の優先事業とされた農業生産振興モデル事業の一環として、無償資金協力「ガンパハ県農村総合開発計画」が1989年より2期に渡り実施され、アンベブッサ畑作モデル農場を始めとする施設が整備された。</p> <p>さらに、同国政府は農村総合開発計画において、農業生産を多様化させることにより農業生産性および農家収入の増大を図るため、1990年7月我が国に対し、プロジェクト方式技術協力「ガンパハ農村総合開発計画」を要請してきた。</p>
<p>2. 協力実施のプロセス</p> <p>&lt;計画立案段階&gt;</p> <p>(1) プロジェクト形成調査</p> <p>(調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)</p>	<p>実施されず</p>
<p>(2) 事前調査</p> <p>(調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)</p>	<p>1993年2月22日～3月6日(13日間)</p> <p>スリランカ側からの要請内容の精査とその優先順位を確認するとともに、プロジェクト方式技術協力実施の可能性を、技術面とプロジェクト方式技術協力スキームとの整合性の面から検討した。技術協力課題の優先順位は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 畑作物栽培技術</li> <li>2) 水稻栽培技術</li> <li>3) 普及技術</li> <li>4) 輸出小作物</li> <li>5) 水管理技術</li> </ol> <p>上記項目のうち、水稻栽培技術は既にJICAが他プロジェクトにより実施済みであることから、本プロジェクトからは除外することが協議・同意された。</p> <p>また、団長レターにおいて、協力開始に当たって満たされるべき前提条件を提示した。その内容は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 関係する組織とそれらの役割が明確にされている事。</li> <li>② 十分な資格のあるカウンターパートの任命。</li> <li>③ 必要な予算の確保</li> </ol>
<p>(3) 長期調査</p> <p>(調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)</p>	<p>1993年7月8日～9月6日(61日間)</p> <p>調査は以下を目的として行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ガンパハ県の農業開発に関係する行政的な組織の機能と運営の把握。</li> <li>② ガンパハ県の農業の現状と農村の実態把握。</li> <li>③ ガンパハ県に置ける農業開発の現状と問題点の把握。</li> <li>④ プロ技協実施の可能性を詳細に技術面から検討すること。</li> </ol>

	これにより、現地調査によるプロジェクトサイトの現状、スリランカ側要望としての分野別活動内容や供与機材が把握された。
(4) 実施協議 (調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)	1994年3月27日～4月9日(14日間) 前回までの調査及びスリランカ側からの回答を踏まえて、課題及びその課題に対する日本側の対応策を整理し、下記項目について方針を立て、スリランカ側と協議・確認を行ないR/Dの署名交換を行なった。 ①プロジェクト名称 ②協力期間 ③文書で確認する事項 ④協力基本計画 ⑤プロジェクト管理・運営体制 ⑥協力基本計画 ⑦プロジェクト管理・運営体制 ⑧日本側ローカルコスト負担 また、R/Dで記述されない内容、さらに詳細に確認する必要のある部分をミニッツとして署名交換を行なった。
3. 協力実施のプロセス <実施段階> (1) 計画打合せ (調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)	1995年2月1日～2月13日(13日間) 暫定実施計画の妥当性をスリランカ側関係者と日本人専門家チーム間の協議を通じ検討し、プロジェクト開始から現在までの実績をとりまとめ、これらに基づく詳細TSIを作成した。 また、本プロジェクトでは、日本側が圃場の整備、研修施設増設、農業実習施設増設の工事を負担予定であるため、計画打合せ調査に先立ち実施設計調査団を派遣し施設実施設計図を作成した。
(2) 巡回指導 (調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)	1996年10月6日～10月18日(13日間) これまでの活動内容の検討・評価と、プロジェクト終了後を視点において持続的に活動が引き継がれていくために、今後の活動計画および援助内容等についてスリ・ランカ側と協議し、以下の事項につき同意を得た。 ①過去の活動は全般に渡り順調に進捗しており、プロジェクト終了時まで目標は達成される。 ②但し生産集団の活動への一層の支援および活動成果を波及させるための研修の拡大実施に伴い、必要に応じ両国のインプットを追加・変更する必要がある。 また、以下の事項につき、スリ・ランカ側に提案を行なった。 ①スリ・ランカ側における関係機関(試験研究機関、市場・流通機関等)との協力体制の構築・強化が必要である。 ②生産集団の活動の一層の発展のため、マーケティング分野での農家支援の後押しが必要である。 ③組織維持のため、回転資金等の設立への助言が求められる。 ④生産集団の活動の展開・波及のため、KR2見返り資金の利用の可能性につき示唆した。 ⑤協力期間終了後のプロジェクト活動に関しては、DATCアンペプッサおよび西部州農業事務所が協力して担うのが適当である。
(3) 中間評価 (調査内容/調査結果に基づく決定事項要約)	実施されず
4. 協力実施のプロセス (1) 実施中に当初計画の変更はあったか	プロジェクト前半期の活動成果に基づき、より適切な活動内容に変更すべく1998年1月15日にR/DおよびTSIが変更された。主な変更点は以下の通り: ①農業普及方法の改善において、スリ・ランカ国の社会・文化条件から見て効果の発現しにくいモデル展示圃の導入を取り止めた。

	② 詳細活動計画を活動の進捗に合わせて変更した。
(2) 実施中にプロジェクト実施体制の変更はあったか	
5. 他の援助事業との関連	

プロジェクト名:ガンパハ農業普及改善計画  
対象地区:スリ・ランカ国ガンパハ県

ターゲットグループ:ガンパハ県農民

期間:1994年7月1日～1999年6月30日  
作成日:1999年4月5日

(2) 計画達成度

プロジェクトの要約	指標	実績	外部条件																				
<p><b>【上位目標】</b> 農業生産の多様化により農業の生産性の向上および農家収入の増大が図られる。</p> <p><b>【プロジェクト目標】</b> ガンパハ県のココナツ畑において、有効な農地の利用と作物の多様化が達成される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガンパハ県のココナツ畑の生産高がプロジェクト開始時よりも向上する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スリ・ランカ政府の農業開発政策に変更が無い。</li> </ul>																				
<p><b>【成果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ココナツ畑の間作における作物生産技術が改善される。</li> <li>モデル地区における生産集団の組織化とモデル展示圃の設置による農業普及が改善される。</li> <li>普及員のための普及方法と作物生産技術の研修教材が開発される。</li> <li>研修を通して普及員の技術レベルが改善される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>間作作物の導入により、ココナツ畑の単位面積当たりの生産高が向上する。</li> <li>農民が自主的に生産集団を形成し、間作作物を導入する。</li> <li>各技術分野におけるマニュアル・ガイドライン、教材等が作成される。</li> <li>普及員の技術レベルが、独自にマニュアル・ガイドラインを作成できるまで向上する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>実証圃へのバナナの導入により、Rs.10,000の収入が上がった。また、ベッデルリーフ、パイナップルの導入でも良好な成果を収めている。</li> <li>2-1 プロジェクト期間中に13生産グループ(126人)が組織された。</li> <li>2-2 インタビュー調査の結果、プロジェクトに参加した農民の95%が生産グループの有益性を認めている。</li> <li>ビデオ、マニュアルが作成され、関係機関に配布された。</li> <li>4 C/Pが生産グループの設立のためのガイドラインを作成した。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間作作物の導入に必要な水源が確保される。</li> <li>農民が直接流通に参画できる。</li> </ul>																				
<p><b>【活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 栽培技術が改善される</li> <li>1-2 導入が考えられる作物と品種の導入試験を行なう</li> <li>1-3 経済作物の作付け体系が改善される</li> <li>1-4 水管理技術が改善される</li> <li>1-5 実証圃における作物生産技術の展示</li> <li>2-1 ボトムアップ方式の普及方法の導入</li> <li>2-2 モデル地区における自主的な生産集団の育成とモデル展示圃の設置</li> <li>2-3 効果的な普及活動方法の導入</li> <li>2-4 普及活動の評価</li> <li>3-1 研修や普及活動に必要な教材の開発と準備</li> <li>4-1 普及員や村落行政官に対する改善された普及方法の研修</li> <li>4-2 普及員や生活集団のリーダーに対する作物生産技術の研修</li> </ol>	<p><b>【投入】</b></p> <p>日本側 専門家派遣 -長期専門家 340.37MM ①チームリーダー ②業務調整 ③農業普及 ④畑作栽培(野菜) ⑤畑作栽培(その他の作物) ⑥水管理 -短期専門家 10分野 34.93MM</p> <p>機材供与等</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>73,149千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>33,566千円</td> </tr> </table> <p>-機材供与</p> <table border="1"> <tr> <td>-日本国内購入分</td> <td>73,149千円</td> </tr> <tr> <td>-ス国内購入分</td> <td>4,378千円</td> </tr> <tr> <td>-プロ基礎整備事業</td> <td>15,200千円</td> </tr> <tr> <td>-一般現地業務費</td> <td>9,288千円</td> </tr> <tr> <td>-啓蒙普及費</td> <td>4,700千円</td> </tr> </table> <p>研修員受入れ 21名、34.93MM</p>		73,149千円		33,566千円	-日本国内購入分	73,149千円	-ス国内購入分	4,378千円	-プロ基礎整備事業	15,200千円	-一般現地業務費	9,288千円	-啓蒙普及費	4,700千円	<p>スリ・ランカ側</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) カウンターパート             <ol style="list-style-type: none"> <li>①プロジェクト・ディレクター</li> <li>②プロジェクト・コーディネータ</li> <li>③プロジェクト・ディレクター代理</li> <li>④プロジェクト・マネージャー</li> <li>⑤農業普及</li> <li>⑥研修および研修機材開発</li> <li>⑦畑作栽培(野菜)</li> <li>⑧畑作栽培(その他の作物)</li> <li>⑨水管理</li> <li>⑩運営管理、短期専門家の活動各分野、その他必要な支援スタッフ</li> </ol> </li> <li>2) 土地・建物・施設             <ul style="list-style-type: none"> <li>-アンベブッサ農業研修センター及びガンパハ IRDP事務所</li> <li>-アンベブッサ畑作モデル農場、</li> <li>-アンベブッサ周辺の実証展示圃場</li> <li>-モデル地区のモデル展示圃</li> <li>-その他プロジェクトの実施に必要な土地、建物、施設</li> </ul> </li> <li>3) 運営費             <table border="1"> <tr> <td></td> <td>27,487千円</td> </tr> <tr> <td>資金投入</td> <td>26,629千円</td> </tr> <tr> <td>-西部州負担分</td> <td>858千円</td> </tr> </table> </li> </ol>		27,487千円	資金投入	26,629千円	-西部州負担分	858千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練を受けたC/PがIRDPで勤務を続ける。</li> </ul> <p><b>【前提条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合同調整委員会が設立される。</li> <li>講堂および寮が整備される。</li> <li>農民がプロジェクトに賛同する。</li> </ul>
	73,149千円																						
	33,566千円																						
-日本国内購入分	73,149千円																						
-ス国内購入分	4,378千円																						
-プロ基礎整備事業	15,200千円																						
-一般現地業務費	9,288千円																						
-啓蒙普及費	4,700千円																						
	27,487千円																						
資金投入	26,629千円																						
-西部州負担分	858千円																						

### (3) 評価結果要約

#### 1. 目標達成度

	成果の達成度	プロジェクト目標達成につながるのを 阻害する要因
(1)プロジェクト の各「成果」 が「プロジェ クト目標」達 成につな がったその 度合い	成果1：実証圃へのバナナの導入により、Rs.10,000の収入が上がった。また、ベッテルリーフ、パイナップルの導入でも良好な成果を収めている。	プロジェクト初期の基盤整備の遅れ、運営上の意見調整等に時間を要したため、活動の開始時期が当初計画より遅れた。当初、主要間作作物として考えていた野菜類の多くがココナッツ畑の栽培環境では不向きなことが判明したため、プロジェクトは当初TSIより大きく遅れた。その後、間作作物をバナナ、パイナップル等に変更し、ココナッツ畑の生産性を向上させた。
	成果2：プロジェクト期間中に13生産グループ（126人）が組織された。また、インタビュー調査の結果、プロジェクトに参加した農民の95%が生産グループの有益性を認めている。	ボトムアップ方式の導入は、社会・文化面から非常に困難であった。このため、農民が自主的に栽培作物を選定するスペシャル・プログラムを導入し、農民および普及員の意識改革を図った。 プロジェクト立案時に策定された活動内容は、当初日本側が想定したものと異なるが、その目的は、農民の自主的な生産集団形成およびグループファンドの健全な運営という面から見て、確実に達成されているものと判断される。
	成果3：ビデオ、マニュアルが作成され、関係機関に配布された。	プロジェクト初期に栽培部門での成果が十分に得られなかったため、多くの教材はプロジェクト後期に開発された。 同国ではマニュアル・ガイドライン類を正規出版物として発行するためには、その内容を所轄官庁が承認する等、各種の手続きが必要と成るため、本プロジェクトで作成されたマニュアル・ガイドライン類は、内部資料として用いられるに留まっている。
	成果4：C/Pが生産グループの設立のためのガイドラインを作成した。	プロジェクトの遅れのため、当初用いたテクノガイドは、栽培の概要レベルに留まっており、実務面での技術問題に対してテキストとはなり得ない事が判明した。 プロジェクトで実施した内部研修では、4年目以降は生産集団への研修、カウンターパート、普及員へのOJTが並行して実施された。

(2) プロジェクトの各活動	活動の状況	成果につながるのを阻害した要因
各活動が成果につながった度合い	活動1-1: 栽培技術の改善	
	1-1-1: 栽培状況調査の結果、ココナッツ畑では果樹、香辛料、イモ類が主な間作物である事が確認された。また、対象地域の代表的な土壌は酸性 (pH5.0) で固相が大きく液相が小さかった。	
	1-1-2: 土壌改良を行い、物理特性が改善された。ココヤム栽培技術の改善およびパパイヤ・バナナ栽培における農家技術の検証が行われた。また、病害対策のための技術改善が行われた。	ココヤムに病気が発生したため、土壌改善の効果およびココヤム栽培技術の改善の結果は不明となった。土壌病害へはリドミル剤は導入が効果がある事が判明した。
	活動1-2: 適作物、適品種の導入試験	
	1-2-1: 各種調査の結果、以下の作物が選択された: 野菜: オクラ、トウガラシ、トウモロコシ、ナス、ウリ類 果樹: バナナ、パイナップル、パッションフルーツ イモ類: ココヤム、ナガイモ類、ショウガ 花類: アンズリウム	
	1-2-2: 野菜の大半はココナッツ畑の遮光環境での栽培には不向きと判明したが、とうがらし、オクラの成績が比較的良かった。	試作圃の整備が遅れたため、ココナッツ畑の環境に対する各種野菜の適応性が不十分な状態でデモ・ファームに導入する事となった。
	活動1-3: 経済作物の作付け体系の改善	
	1-3-1: 農産物価格調査の結果、季節変動が大きく6~7月に市場価格が高騰する事が判明した。	スイートコーン等、コロomboの外国人向け市場で高値をつける作物もあったが、取扱量が少なかった。
	1-3-2: バナナとパイナップルを間作物として導入した。またトウガラシのポット育苗も実施し、効果を収めた。	
	活動1-4: 水管理技術の改善	
	1-4-1: 気象観測システムを確立した。また、クレイポット灌漑・点滴灌漑試験、農家水源調査を実施し、現状に適した水管理改善策を検討した。	
	1-4-2: 試験圃、実証圃、生産集団における水管理技術の圃場試験	
	活動1-5: 実証圃における作物生産体系の展示	
	1-5-1: パイナップル、ショウガ、バナナ、ナガイモ、ターメリックの実証栽培を実施した。パイナップル、バナナの生産費を算出した。	当該地の適正な耕種基準に改善する必要がある事が判明した。
1-5-2: 灌水施設の設置により、常時灌水が可能となった。栽培植幅に差がでてきたが作業効率が高い。		

1-5-1: トウガラシ、オクラ、マメ科植物の輪作体系試験を行った。	個体毎の収量に差が大きく、安定生産を望めない事が判明した。
活動2-1: ボトムアップ方式の普及方法の導入	
2-1-1: 普及員5名に対する活動状況調査を通じて、問題点の把握、改善策の策定を行った。	
2-1-2: プロジェクト前期は各生産集団毎に展示圃を設定した。後期は優良な農家の圃場を展示圃として利用、農民研修を行った。	「自分の行っている事を他人から隠す」傾向の多い社会・文化状況に対し、展示圃はその役割を十分に果たせなかった。展示圃での結果を待ちきれずにメンバーの作付けが始まった。
2-1-3: プロジェクト期間中に13生産集団が形成され、126人の農民がプロジェクトに参加した。生産集団総会および集会、圃場巡回指導等の活動を通じて生産集団の育成に努めると共に、ガイドラインの作成を行った。	プロジェクト活動を通じてTop-down方式の緩和に努めたものの、同国の社会習慣でもあり、未だその傾向が強い。
活動2-2:	
2-2-1: 5集団75農家を対象にした詳細調査を実施し、農業経営の背景、ココナッツ栽培実体、プロジェクト参加希望者、希望栽培作物等を把握した。調査結果を基に14地区をプロジェクト体松竹に選定し、更に5ヶ所のモデル地区に5つの生産集団を形成した。	プロジェクト初期に形成した5集団は、事前調査の不備および組織化に対する農民の理解不足から十分な成果が得られなかった。
2-2-2: バナナ、パイナップル、ココヤムの植付け作業等の共同作業を集団内で促進した。また市場調査を行い、共同出荷の普及のための啓蒙活動・研修、試験出荷を実施した。	流通分野は民間業者によりコントロールされているため、共同出荷は試験段階に留まった。農民の手による直売店の運営も行われたが、利益分配の問題等により現在は停止している。
2-2-3: “2-1-2” に示した通り、同国の社会風習により展示圃は初期の効果が得られないため、集団リーダーの農場または優秀な農場をモデルとして普及活動を実施した。	“2-1-2” に同じ。
2-2-4: 圃場巡回指導やグループ員集会、専門家・C/Pによる現地調査を通じて、生産集団に対する助言が与えられた。	
活動2-3:	
2-3-1: プロジェクト前期に展示圃実施ガイドラインを作成し、普及員指導会、農民集会、圃場巡回指導等を通じて展示圃運営の指導を行った。	“2-1-2” に同じ。
2-3-2: 1998年Yala期には延べ110農場が12種の間作作物を導入した。また、1997/1998年期以降導入したグループファンドは、1998年3月時点には13集団で合計132万ルピーになった。	

活動2-4:	
2-4-1: 普及員会議、グループ員総会(2月、8月)等を通じて、作期毎および月間の評価方法の指導を行った。	
2-4-2: 農家自身による営農記録の作成・提出、生産集団によるグループファンド記録、普及員による農家生産記録・指導記録の作成等を実施した。これらの結果を基に、各生産集団の成長診断を行った。	「自分の行っている事を他人から隠す」傾向の多い社会・文化状況に対し、展示圃はその役割を十分に果たせなかった。展示圃での結果を待ちきれずにメンバーの作付けが始まった。
活動3-1:	
3-1-1: 同国で使用されていたテクノガイドは、そのままでは低湿地潤地帯にあるプロジェクトサイトには適応できないことが判明した。また、農業省発行の作物別栽培指針・ビデオテープも直接の利用は困難であることが判明した。	
3-1-2: 農民の生産活動を踏まえた上での普及方法の検討を行い、堆肥作成方法やココヤム育苗等についてパンフレット及びビデオを作製した。	
3-1-3: 野菜類では育苗を中心とした、半永年作物では定植前の苗処理方法、施肥・側枝処理・果実の虫害防除などについて生育時期別に研修が実施された。	
3-1-4: 農民への苗床及び堆肥作成、ココヤム・バナナ栽培等の簡易な資料作成・配布を行った。また、水源、灌水法の現状を把握し、効果的な水利用法について指導・助言を行った。	
活動4-1:	
4-1-1: C/P・普及員の具体的な活動状況を把握し、問題点と改善策を検討した。また、毎月の生産集団の活動計画及びその評価を実施した。	
4-1-2: プロジェクト3年目から普及員への課題別研修を実施した。当初は月1回6~9項目を取扱う座学中心の研修であったが、後半は回数を減らすとともに1日の項目を1~2とし、実技を含めたより具体的な生産活動に関連する事柄に特化させた。また、グループファンド設置後は普及員が生産集団に対し集中研修を実施した。その他、土壌物理性改善、土壌病害、農業経営に関する指導・セミナーが実施された。	グループファンドの指導に関しては、各普及員が会計担当者に指導できるまでの能力を会得するための研修を行う必要があった。



<p>4-1-3：プロジェクト初期は展示圃で演示を通じ実施したが、後半は農民の圃場を使用し研修を行った。バナナ、パイナップル等の導入に伴い、定植前の苗の消毒を実施し、普及員自らが農民に演示した。</p>	
<p>4-1-4：月1回の巡回指導、スポットトレーニング等にて、季節別・地域別・作物別の問題点への事前の対応策を説明或いは演示した。また、先進農民・試験場への視察を実施し、当該国での先進栽培手法に関する所見を得た。</p>	
<p>活動4-2：</p>	
<p>4-2-1：“3-1-1”に記した通り、既存の訓練材料は不適切なため、作物栽培、水管理手法について地域適応型の技術開発の必要性が確認された。</p>	
<p>4-2-2：毎月の普及員会議時の研修、プロジェクトサイトでの現場研修、栽培技術や水管理技術を対象とした集合研修を実施した。この結果、知識だけでなく実務能力も向上し、農民を指導できるようになった。</p>	
<p>4-2-3：プロジェクト初期は展示圃にて研修を実施していたが、後半は他の生産集団の圃場が見学対象となった。グループ間の視察・研修以外に試験研究機関や先進地の視察を通じ、自分達の技術力を確認できる農民が増えた</p>	
<p>4-2-3：月例圃場巡回研修時に農民圃場にて普及員とC/Pが指導を行った。</p>	
<p>4-2-4：各セクション毎に月例圃場巡回研修等を通じC/Pが普及員へOJTを実施した。</p>	

## 2. 効果

効果の広がり	効果の内容（制度、技術、経済、社会文化、環境面での効果）
(1) 直接的効果 （「プロジェクト 目標」レベル）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研修に農民を参加させることで、農民の栽培意欲の向上と農民同士の相互連携を図られ、改善技術の普及が容易になった。</li> <li>• プロジェクトサイトで雇用した常勤および非常勤の農業労働者の技術の改善は著しく、今度の波及効果が期待できる。</li> <li>• 普及員は1人当たり6,000世帯の農家を担当しているため、実質的な普及活動が行なえない体制にあった。本プロジェクトにより生産集団が形成されるようになると、集団を対象とした普及活動が可能となるため普及活動の効率が向上した。</li> <li>• アンベプッサDATCの機能が強化された。</li> <li>• グループファンドの設立により、生産集団の経営の改善が進展した。これにより、国および他部局の融資制度の活用も可能となった。</li> <li>• 1生産集団は会社組織を作り上げた。</li> <li>• 既存の農民グループの経営改善の成果を知り、農民グループの形成を希望する農民が増えてきている他、個人的に半永年作物を中心としたココナッツ園でも作物の多様化が進んでいる</li> <li>• プロジェクト活動により生産集団が導入されたことにより、生産物の共同出荷や資財の共同購入、グループファンドの運営等のグループ活動の有益性を認識するようになった。</li> <li>• 女性だけの生産集団が組織化された。当該グループの女性メンバーは女性が独自に収入源を持つことを積極的に進めている。</li> <li>• 水の有効利用方法が認識されるようになり、農業揚水と家庭用水とのバランスが保たれるようになった。その結果、農民の家庭環境が改善された。</li> </ul>
(2) 間接的効果 （「上位目標」 レベル）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ココナッツ畑以外に、土地条件から灌漑水が十分に回ってこない水田にもバナナ栽培を導入しはじめ、10エーカーの水田にバナナ団地が造成された。この団地ではバナナ収穫のみならずバナナサッカーの供給を商業的に行い、近隣農家に供給し、高収益を挙げている。</li> <li>• 農業開発プロジェクトとして農民の生産集団化を進めているのは、西部州では本プロジェクトだけである。但し、その他の部門では生産集団方式を導入しているプロジェクトがある。本プロジェクトでの生産集団の形成手法の確立は、これら他部門のプロジェクトにも正のインパクトを与える可能性がある</li> </ul>

### 3. 効率性

<p>(1) 投入のタイミングの妥当性 (日本側)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門家の派遣</li> <li>• 機材の供給</li> </ul> <p>(イ国側)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地、施設・機供の措置</li> <li>• カウンターパートの措置</li> <li>• ローカルコストの負担</li> <li>• その他</li> </ul>	<p>(日本側)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本側の専門家派遣、機材供与は計画通り1994年7月より実施された。</li> <li>• C/P研修員の受け入れも計画通り実施された。</li> <li>• ローカルコストの負担（啓蒙負担事業Rs5,122,625、技術交換事業費Rs925,929、一般現地業務費Rs,13,680,866、プロ基盤整備事業Rs15,200,000）も遅延なく行われた。</li> </ul> <p>(スリ・ランカ国側)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地、建物等は殆どが計画通りに投入された。但し、寮および講堂は建設が遅れ、プロジェクト活動に用いることはできなかった。</li> <li>• プロジェクト初期にC/Pの配置が遅れたが、その後必要な人材はすべて配置された。</li> <li>• ローカルコストRs27,488,000が措置された。</li> </ul>
<p>(2) 投入と成果の関係 (投入の量・質と成果の妥当性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門家の派遣</li> <li>• 機材の供与</li> <li>• 研修員の受入れ</li> <li>• 土地、施設・機供の措置</li> <li>• カウンターパートの配置</li> <li>• ローカルコストの負担</li> <li>• その他</li> </ul>	<p>プロジェクトへの投入は、その結果より以下の点を除き、量・質ともに適切であったと判断される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボトムアップ方式での普及活動の共通認識が取れていなかったため、プロジェクト初期に日本人専門家と現地側との意見調整に時間がかかり、実質的なプロジェクト活動の開始時期が遅れた。</li> <li>• プロジェクト活動により、ココナッツ畑の遮光条件下では野菜の栽培が困難なことが判明した。この結果に伴い、専門家の派遣分野が一部変更された。</li> <li>• プロジェクト前期に水管理の専門家が早期帰国した。プロジェクト後半に当該分野の専門家が派遣されたが、当該分野の活動が1時期停滞した。</li> <li>• 15名のC/Pのうち7名が非常勤であった。特に上部C/Pの殆ど全員が非常勤であったため、プロジェクト活動に支障をきたした。</li> <li>• 英語の話せるスタッフをC/Pに選定したため、C/Pの年齢層が高くなってしまった。</li> </ul>
<p>(3) 無賞等他の協力形態とのリンゲージ/OECF、第3国国際援助機関による協力とのリンゲージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本プロジェクトは1987年にわが国援助により策定された「ガンパハ県農業総合開発計画M/P」、1989年より2期にわたり実施された無賞資金協力「ガンパハ県農業総合開発計画」の延長として実施されたものである。</li> </ul>
<p>(4) その他</p>	

#### 4. 計画の妥当性

<p>(1) 上位目標の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 受益者ニーズとの整合性</li> <li>• 開発政策との整合性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スリランカ政府は、前公共投資5ヶ年計画に続き、公共投資5ヶ年計画（1997-2001）においても、農業部門の主な開発方針として、「農業分野の生産性の向上」、「農家収入の増加」および「適正価格での継続的な食料の供給」を挙げている。したがって、本プロジェクトの上位目標は、プロジェクト終了時点においてもスリランカ国の開発方針に一致している。</li> <li>• なお、本プロジェクトの成果により、本プロジェクトの対象となった農家は生産集団の活動を通じ経営改善が進みつつある。</li> </ul>
<p>(2) プロジェクト目標の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上位目標との整合性</li> <li>• 実施機関の組織ニーズとの整合性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スリランカ政府は、農業部門の地方分権化を促進しており、本プロジェクトの実施機関の一つである。ガンパハ県IRDPAもプロジェクト終了後1~2年以内に解体する計画である。これに伴い、1998年度よりIRDPAよりも雇用・収入および生産の増加に力点を置いた“Regional Economic Advancement Project”が開始されている。</li> <li>• 上述の通り、本プロジェクトは農家収入の増加を図るものであり、当該プロジェクトの目的にも合致している。計画・実施省地域開発局も本プロジェクト終了後も既存活動の継続とマーケティング等の新規活動の支援は今後とも可能であるとしている。</li> <li>• 以上より、本プロジェクトは終了時点においてもスリランカ国の農業開発において高いニーズを有していると判断される。</li> </ul>
<p>(3) 上位目標、プロジェクト目標、成果及び、投入の相互関連性に対する計画設定の妥当性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「上位目標」、「プロジェクト目標」、「成果」、「投入」の相互関連性は妥当であると判断された。開発された間作作物の栽培技術はプロジェクト活動を通じて確実に普及されている。また、各成果もプロジェクト目標の実現に貢献している。</li> </ul>
<p>(4) 妥当性に欠いた要因 (ニーズ把握状況、プロジェクトの計画立案、相手国実施体制、国内支援体制等の観点から記述)</p>	<p>本プロジェクトでは実際の活動開始時期が大幅に遅れている。このため、1998年にR/DおよびTSIの変更を行っている。以下の点については、プロジェクト開始前の各調査段階において調整する必要があったと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ココナッツ畑への野菜類の導入の可否は、長期調査においてココナッツ畑の自然条件を明確にすれば判断できた問題と思われる。</li> <li>• 日本側とスリ・ランカ側での普及方法に関する認識の違いは、プロジェクト開始までの各調査段階で合意するか、少なくとも問題点として認識しておくべきものであると考えられる。</li> </ul>

5. 自立発展の見通し

	中間評価時の見通し	終了評価時の見通し
(1) 制度的側面 (政策的支援、 スタッフの配 置・定着状 況、類似組織 との連携、運 営管理能力等 の観点から記 述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本側・スリ・ランカ側ともプロジェクト終了後もアンベプッサDATCがプロジェクト活動を継続する実施主体として位置づけられることに同意した。</li> <li>• DATCはC/Pを中心に技術力が向上するとともに情報提供のための施設も充実し、プロジェクト終了時には農民に技術を普及して行くための研修・インフォメーションセンターとしての機能を果たすことが期待されている。</li> <li>• ガンパハ農業事務所は、プロジェクト終了時にはC/Pを中心にボトムアップ方式の定着のための県内普及制度の充実を図ることが期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクト終了後（1999年7月1日）より、プロジェクトは、農業普及改良センター・アンベプッサ（AEIC）となり、西部州農業局にて管理される。運営管理については、必要に応じ、西部州農業・土地省次官と農業局長の認めた技術調整委員会の指導を受けることができる。</li> <li>• AEICの改編に伴い、本プロジェクトの普及部門、栽培部門、水管理部門の常勤カウンターパートは全員AEICに移転することとなっている。（退職者を除く）。更に、計画省と西部州のスキームに基づく6名の助手を準備することとなっている。</li> </ul>
(2) 財政的側面 (必要経費の 資金源、公的 補助の有無、 自主財源、経 理処理状況等 の観点から記 述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DATC、ガンパハ農業事務所とも将来的な予算措置に関しては、今後の検討課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AEICの予算は西部州が措置することになっている。1999年度は7月から西部州単独の管理体制に入るため、半年分として1,135,000ルピーが計上されている。</li> <li>• この他、1999年の西部州全体予算として、農業普及活動に17,288千ルピーが、農業訓練活動に14,261千ルピーが計上されている。</li> <li>• 農家の規模拡大や新規機材の購入等に対する農業・土地省が有する2つの公的融資制度がある。一つは輸出農業局の、コショウ、ペテル等の輸出作物栽培振興のための融資制度であり、もう一つはココナッツ局の有する、ココナッツ栽培（ココナッツの間作作物を含む）のための融資制度である。</li> </ul>

<p>(3) 技術的側面 (移転された技術の定着状況、施設・機材の保守管理状況、現地の技術的ニーズとの合致状況等の観点から記述)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ活動への一層の支援および活動成果を普及させるための研修の拡大実施に伴い、必要に応じて両国の投入を追加・変更する必要があることを確認した。</li> <li>• スリ・ランカ側における関係機関（試験研究機関、市場・流通機関等）とのkよ兎力体制の構築・教化が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主要導入作物に対する栽培改善技術は、AEICの活動の一環として、カウンターパートが中心となり、栽培指針の作成等の活動を継続していくことになる。本プロジェクトの活動と通じて、カウンターパートは、土壌の物理性の測定、pH、ECの測定、土壌・作物の無機成分の分析、簡単な病害の培養、検定技術等をほぼ習得している。</li> <li>• 水管理部門では、総合気象観測装置の維持管理、保守・点検、データの集計方法はほぼ習得されている。水管理技術は基本的には習得したが、農家段階での応用は今後の課題である。</li> <li>• 普及方法に関しては、当初計画していたボトムアップ方式とは異なる形式ではあるが、生産集団の形成およびスペシャル・プログラム等の導入による間作作物の導入、グループファンドの設立・運営方法等に関しては、プロジェクト期間中の現場での問題点の発掘、それに対する改善技術の提供等の活動を通して体得している。また、カウンターパートが中心となって、生産集団育成手法のテキストが作成されている。</li> <li>• 上記の通り、導入の試みられた技術は、ほぼカウンターパートに移転されており、また、生産集団も適正に活動を行っていることにより、移転技術の内容および技術レベルは適正であったと判断される。</li> </ul>
<p>(4) その他</p>		

(4) プロジェクトの展望および教訓・提言

<p>1. 延長又はフォローアップの必要性 (必要な分野/方法/実施のタイミング/理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•本プロジェクトの目標は、プロジェクト期間内にほぼ達成するものと判断される。自然条件や社会経済条件の違いにより、当初計画通りには進まなかった事例はあるが、活動内容を現地事情に合わせて変更した結果、当初計画と同等あるいはそれ以上の効果が得られた事が伺える。</li> <li>•現状では、延長又はフォローアップの必要性は認められず、本プロジェクトは当初計画どおり、1999年6月30日を持って終了することが適切であると判断される。</li> </ul>
<p>2. 教訓と提言</p>	
<p>① 教訓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•一般にプロ技ではTSIに記された活動に捕らわれ、プロジェクト目標の達成よりも活動の実施を重視する傾向が見られる。本プロジェクトでは、プロジェクトの進行に従い活動の障害となるスリ・ランカ国の社会・文化や自然環境が明らかになったため、目標の達成に至るまでに多くの活動内容の変更があった。TSIに定められた活動内容にとらわれず、目標達成のために臨機応変に活動内容を変更した本プロジェクトの姿勢は高く評価されるべきものである。</li> <li>•但し、本プロジェクトで問題となった社会・文化条件や自然環境面の問題点には、プロジェクト形成段階に実施された各種調査で確認可能なものもあったと思われる。プロジェクト形成段階の調査に一層力を入れる必要があると考えられる。</li> </ul>
<p>② 短期的提言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•本プロジェクト終了後は、AEICが独自でプロジェクト活動を継続していくこととなる。スリ・ランカ側の自立心を尊重する事は重要なことではあるが、日本側による定期的なモニタリングも必要と思われる。特に生産集団は独自にグループファンドを運営することになるため、適切な指導が必要となる。</li> </ul>
<p>③ 長期的提言 (制度改革等が必要なもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•本プロジェクトで組織化された生産集団のシステムは、グループファンドの運営も含め、スリ・ランカ国では成功事例の少ない画期的なものである。同国で実施される他のプロ技案件においても、同様の生産集団システムの導入可能性について、積極的に検討するべきであると思われる。</li> </ul>

① 年度別データの取りまとめ表

	単位	協力開始前		協力期間中										後	
		1994/ 95Maha	1995 Yala	1994/ 95Maha	1995 Yala	1996/ 96Maha	1996 Yala	1996/ 97Maha	1997 Yala	1997/ 98Maha	1998 Yala	1998/ 99Maha	1999 Yala	1999/ 00Maha	2000 Yala
<b>1. 上位目標</b>															
ガンパハ県の農業生産高	Rs														
ガンパハ県の農民1人当たりの農業収入	Rs														
<b>2. プロジェクト目標</b>															
C/Pの数	人														
研究費	Rs														
① ココナツツ園における間作作物の生産技術の改善															
検討された適作物・適品種の数	数			17					12						2
試作圃での選定実験回数	回			5	5	6	5	5	6	6	5	5	4		8
選定された適作物・適品種の数	数				1	1	3		5		2		1		
検討された適作物・適品種の作付け体系の数	数					1	1	1	2	2	2	2	2		2
実施された水管理技術の圃場試験回数	回					1			1	2	2	1	1		1
展示された作物生産体系数	数					1	1	4	5	6	5	4	6	3	
② 農業普及方法の改善															
新たに設立された生産グループの数	数						5		2	2		1	1		2
生産グループに参加する農民の数	人(合計)						73	82	101	111	111	125	110		126
共同活動が促進された生産グループ数	数						5	5	2	9		6			2
生産グループに運営されるモデル展示圃の数	数						3	5	5	4	4	4	4		4
グループファンドを運営する生産グループの数	数										9	10	11		13
グループファンド総額	Rs(x1,000)										451	1,038	1,183		1,323
総会、集会、ラウンディング・スポットガイダンス等	数						5	10							
間作作物を導入した農場面積	acr						7	9	12	13	10	11	10		10
間作作物を導入した農場数	数							40	129	30	146	70	110		68
運営指導されたモデル展示圃の数	数						5	5	5		2	2	2		2
普及員の数	人						5	5	7	9	9	10	10		11
月別・季節別評価方法の助言の数	数							25	23	35	40	40	54		48
農民情勢の記録数	数							5	5	7	9	9	10		10
③ 研修教材の開発															
開発された普及活動用の研修教材数	数							1		2		5		3	
開発された生産活動用の研修教材数	数							2		1		12		4	
開発された水管理用の研修教材数	数							1	1			1		1	
④ 研修の実施															
OJTに参加した普及員・村落行政員数	人							15		19		120		87	18
普及員の集合研修回数	回							1		2		4		3	1
普及員の集合研修への参加者数	人							5		18		33		31	12
生産グループへの新技術の研修回数	回								2		3				6
生産グループ研修への参加者数	人									28		86		109	21
普及員による生産グループ農民への現地研修回数	回								25	25	35	35	45	50	55
普及員による生産グループ農民への集合研修への参加者数	人														60
発行されたマニュアル・ガイドライン・ビデオ数	数						4			4		17		7	
発表された研究成果の論文数	数														1
広報誌の刊行回数	回														
その他															



② インプット総括表

	1990年度	1991年度	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度
協力段階:期間 要請: '90年7月10日 R/D: '94年4月6日 T/S: M/D:							ガンパハ農業普及改善計画 事業実施			
	協力要請		事前調査	長期調査	実施協議	計画打合	巡回指導			終了時評価
事前調査:6名 1993年2月22日~3月6日					1) 団長/栽培 2) 普及技術 3) 水管理 4) 協力企画 5) 技術協力 6) 業務調整					
長期調査:5名 1993年7月8日~9月6日					1) 農業普及 2) 栽培/技術協力 3) 農村社会 4) 水管理 5) 技術協力					
実施協議:5名 1994年3月27日~4月9日					1) 総括/団長 2) 農業普及 3) 栽培 4) 水管理 5) 業務調整					
計画打合:4名 1995年2月1日~2月13日						1) 団長/総括 2) 普及技術/栽培 3) 水管理 4) 業務調整				
巡回指導:6名 1996年10月6日~10月18日							1) 総括 2) 農業普及 3) 協力企画 4) 栽培 5) 水管理 6) 業務調整			
終了時評価:5名 1999年4月19日~4月29日										1) 総括 2) 協力評価 3) 栽培(水管理) 4) 農業普及/研修管理 5) 技術協力 6) 評価分析
専門家派遣 長期:12名(340.37MM)					派遣:1994年7月1日 投入人月数:37.43MM 1.チームリーダー 2.業務調整 3.畑作栽培(野菜) 4.畑作栽培(その他作物) 5.水管理 6.農業普及	投入人月数:65.07MM 1.チームリーダー 2.業務調整 3.畑作栽培(野菜) 4.畑作栽培(その他作物) 5.水管理 6.農業普及	投入人月数:53.87MM 1.チームリーダー 2.業務調整 3.畑作栽培(野菜) 4.畑作栽培(その他作物) 5.栽培 6.水管理 7.農業普及	投入人月数:34.90MM 1.チームリーダー 2.業務調整 3.畑作栽培(野菜) 4.栽培 5.水管理 6.農業普及	投入人月数:72.00MM 1.チームリーダー 2.業務調整 3.水管理 4.栽培 5.農業普及 6.研修・教材作成	投入人月数:13.00MM 1.チームリーダー 2.業務調整 3.水管理 4.栽培 5.農業普及 6.研修・教材作成
短期: 10分野 34.93MM					3分野 3名 8.67MM	2分野 3名 8.10MM	3分野 3名 4.70MM	1分野 1名 1.93MM	2分野 2名 2.13MM	派遣無し
研修員受入れ: 21名、19.58MM					3名 1)農業一般 2)農業一般 (2.00MM)	4名 1)農業普及 2)水管理 3)野菜栽培 4)その他作物 (10.93MM)	4名 1)農業普及 2)農業普及 3)農業普及 4)農業一般  (4.37MM)	6名 1)農業普及 2)農業普及 3)農業普及 4)農業普及 5)農業一般 6)農業一般 (6.40MM)	4名 1)農家経営 2)分析・栽培技術 3)栽培技術 4)農業一般  (11.23MM)	1名 1)農業一般
供与額 (x1,000)										
1)プロ基礎整備費	Rs15,200				Rs15,200					
2)一般現地業務費	Rs9,288					Rs2,303	Rs2,607	Rs4,080	Rs2,600	
3)啓蒙普及活動費	Rs4,700					Rs1,159	Rs998	Rs1,450	Rs1,092	
4)技術交換事業費	Rs926								Rs926	
5)供与機材費(日本国内)	¥73,149				¥32,653	¥26,454	¥12,331	¥1,274	¥438	
(外国購入分)Rs4,378					Rs2,682	Rs408		Rs1,288		
その他										

③ Accomplishment Summary of Project Input

	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
Process of the Project Request : 10, July 1990	Request Submission			Implementation of the Irrigation Engineering Service Center Project						
R/D: 6, April 1994 TSI: M/D:				Preliminary Study Long term Study Implementation Discussion	Consultation Study	Advisory Study				Evaluation Study
Preliminary Study: 6 members 2 February 1993 ~ 6 March 1993				1) Leader/Cultivation 2) Agricultural extension 3) Water management 4) Cooperation planning 5) Technical cooperation 6) Coordinator						
Long term Study: 5 members 8 July 1993 ~ 6 September 1993				1) Agricultural extension 2) Cultivation/Technical cooperation 3) Agro-society 4) Water management 5) Technical cooperation						
Implementation Discussion: 5 members 27 March 1994 ~ 9 April 1994				1) Leader 2) Agricultural extension 3) Cultivation 4) Water management 5) Coordinator						
Consultation Study: 4 members 1 February 1995 ~ 13 February 1995				1) Leader 2) Agricultural extension/Cultivation 3) Water management 4) Coordinator						
Advisory Study: 6 members 6 October 1996 ~ 18 October 1996				1) Leader 2) Agricultural extension 3) Cooperation planning 4) Cultivation 5) Water management 5) Coordinator						
Evaluation Study: 5 members 19 April 1999 ~ 29 April 1999				1) Leader 2) Cooperation Evaluation 3) Cultivation (Water management) 4) Agricultural extension/Training 5) Plan evaluation 5) Evaluation analysis						
Dispatching Japanese Experts Long Term Experts: 12 personnels (340.37MM)				1st Dispatching Experts was on 1 July 1994 Input MM/year 37.43MM 1. Team Leader 2. Coordinator 3. Cultivation (Vegetable) 4. Cultivation (other crops) 5. Water management 6. Agricultural extension						
Short Term: 10 subjects (34.93MM)				3 Subjects 3 Experts 8.67MM	2 Subjects 3 Experts 8.10MM	3 Subjects 3 Experts 4.70MM	1 Subject 1 Expert 1.93MM	2 Subjects 2 Experts 2.13MM	Not dispatched	
Counterparts Overseas Training: 21 trainees 19.58MM				3 personnels 1) Agriculture 2) Agriculture  (2.00MM)	4 personnels 1) Agricultural extension 2) Water management 3) Cultivation (Vegetable) 4) Cultivation (Other crops)  (10.93MM)	4 personnels 1) Agricultural extension 2) Agricultural extension 3) Agricultural extension 4) Agriculture  (4.37MM)	5 personnels 1) Agricultural extension 2) Agricultural extension 3) Agricultural extension 4) Agriculture 5) Agriculture  (6.40MM)	4 personnels 1) Farm management 2) Analysis/ Cultivation techniques 3) Cultivation techniques 4) Agriculture  (11.23MM)	1 personnels 1) Agriculture	
Distributed total amount Rs (X1,000)					(X1,000)	(X1,000)	(X1,000)	(X1,000)	(X1,000)	
1) Development of Infra. Rs 15,200					Rs 15,200					
2) Local running cost Rs 9,288						Rs 2,303 Rs 1,159	Rs 2,607 Rs 998	Rs 4,080 Rs 1,450	Rs 2,600 Rs 1,092 Rs 926	
3) Enlightenment and extension Rs 4,700										
4) Technical exchange Rs 926										
5) Provision of equipment (in Japan)					¥32,653	¥26,454	¥12,331	¥1,274	¥438	
(in Sri Lanka)					Rs 2,682	Rs 408		Rs 1,288		
Others										

④ プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

プロジェクト名:ガンバハ農業普及改善計画  
対象地区:スリランカ国ガンバハ県

ターゲットグループ:ガンバハ県農民

期間:1994年7月1日～1999年6月30日  
作成日:1999年4月5日

プロジェクトの要約	指標	実績	外部条件
<p><b>【上位目標】</b> 農業生産の多様化により農業の生産性の向上および農家収入の増大が図られる。</p> <p><b>【プロジェクト目標】</b> ガンバハ県のココナッツ畑において、有効な農地の利用と作物の多様化が達成される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガンバハ県のココナッツ畑の生産高がプロジェクト開始時よりも向上する。</li> <li>農民が自主的に間作作物を導入する。</li> <li>生産グループの設立による間作作物導入システムが確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バナナ、パイナップル等の導入により生産グループの農民の農業収入は向上している。その結果、間作作物の導入や生産グループの設立を希望する農民が増えている。</li> <li>生産グループはグループファンドを運営している。その総額は13グループでRs.1,323,126になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スリランカ政府の農業開発政策に変更が無い。</li> <li>本プロジェクト終了後も、農業普及改良センター・アンベッサにより活動が継続される。</li> <li>農民が他の産業に転業しない。</li> </ul>
<p><b>【成果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ココナッツ畑の間作における作物生産技術が改善される。</li> <li>モデル地区における生産集団の組織化とモデル展示園の設置による農業普及が改善される。</li> <li>普及員のための普及方法及作物生産技術の研修教材が開発される。</li> <li>研修を通して普及員の技術レベルが改善される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>間作作物の導入により、ココナッツ畑の単位面積当たりの生産高が向上する。</li> <li>農民が自主的に生産集団を形成し、間作作物を導入する。</li> <li>各技術分野におけるマニュアル・ガイドライン、教材等が作成される。</li> <li>普及員の技術レベルが、独自にマニュアル・ガイドラインを作成できるまで向上する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>実証園へのバナナの導入により、Rs.10,000の収入が上がった。また、ベッセルリーフ、パイナップルの導入でも良好な成果を収めている。</li> <li>2-1 プロジェクト期間中に13生産グループ(126人)が組織された。</li> <li>2-2 インタビュー調査の結果、プロジェクトに参加した農民の95%が生産グループの有益性を認めている。</li> <li>3 ビデオ、マニュアルが作成され、関係機関に配布された。</li> <li>4 C/Pが生産グループの設立のためのガイドラインを作成した。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間作作物の導入に必要な水源が確保される。</li> <li>農民が直接流通に参画できる。</li> </ul>
<p><b>【活動】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 栽培技術が改善される</li> <li>1-2 導入が考えられる作物と品種の導入試験を行なう</li> <li>1-3 経済作物の作付け体系が改善される</li> <li>1-4 水管理技術が改善される</li> <li>1-5 実証園における作物生産技術の展示</li> <li>2-1 ボトムアップ方式の普及方法の導入</li> <li>2-2 モデル地区における自主的な生産集団の育成とモデル展示園の設置</li> <li>2-3 効果的な普及活動方法の導入</li> <li>2-4 普及活動の評価</li> <li>3-1 研修や普及活動に必要な教材の開発と準備</li> <li>4-1 普及員や村落行政官に対する改善された普及方法の研修</li> <li>4-2 普及員や生活集団のリーダーに対する作物生産技術の研修</li> </ol>	<p><b>【投入】</b></p> <p>日本側</p> <p>専門家派遣</p> <p>-長期専門家 340.37M/M</p> <p>①チームリーダー</p> <p>②業務調整</p> <p>③農業普及</p> <p>④畑作栽培(野菜)</p> <p>⑤畑作栽培(その他の作物)</p> <p>⑥水管理</p> <p>-短期専門家 10分野 34.93MM</p> <p>機材供与等</p> <p>-機材供与</p> <p>-日本国内購入分 73,149千円</p> <p>-ス国内購入分 4,378千円</p> <p>-プロ基盤整備事業 15,200千円</p> <p>-一般現地業務費 9,288千円</p> <p>-啓蒙普及費 4,700千円</p> <p>研修員受入れ 21名、34.93MM</p>	<p>スリランカ側</p> <p>1) サウンダーパート</p> <p>①プロジェクト・ディレクター</p> <p>②プロジェクト・コーディネーター</p> <p>③プロジェクト・ディレクター代理</p> <p>④プロジェクト・マネージャー</p> <p>⑤農業普及</p> <p>⑥研修および研修機材開発</p> <p>⑦畑作栽培(野菜)</p> <p>⑧畑作栽培(その他の作物)</p> <p>⑨水管理</p> <p>⑩運営管理、短期専門家の活動各分野、その他必要な支援スタッフ</p> <p>2) 土地・建物・施設</p> <p>-アンベッサ農業研修センター及びガンバハ IRDP事務所</p> <p>-アンベッサ畑作モデル農場、</p> <p>-アンベッサ周辺の実証展示園場</p> <p>-モデル地区のモデル展示園</p> <p>-その他プロジェクトの実施に必要な土地、建物、施設</p> <p>3) 運営費 27,487千円</p> <p>資金投入 26,629千円</p> <p>-西部州負担分 858千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練を受けたC/PがIRDPで勤務を続ける。</li> </ul> <p><b>【前提条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合同調整委員会が設立される。</li> <li>講堂および寮が整備される。</li> <li>農民がプロジェクトに賛同する。</li> </ul>

### Project Design Matrix of the Agricultural Extension Improvement Project in Gampaha

Project title : The Agricultural Extension Improvement Project in Gampaha  
Project area : Gampaha District, Democratic Socialist Republic of Sri Lanka

Target Group : Farmers in Gampaha District

Duration : July 1, 1994 to June 30, 1999  
Prepared by JICA Evaluation Team on April 16, 1999

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Achievements	Important Assumption
<p><b>[Overall Goal]</b> Agricultural productivity and farmer's income are increased through the agricultural diversification.</p> <p><b>[Project Purpose]</b> An effective farmland use and crop diversification are achieved in the coconut field in Gampaha District.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Production value from coconut field in Gampaha District become higher than it before the Project.</li> <li>• Farmers start to introduce intercroops independently.</li> <li>• Introduction system for intercrop is established through the organization of production groups.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Farmer's income is increased through the introduction of intercrop such as Banana and Pineapple. As the result, the number of farmers who wish to introduce intercroops or establish production group has increased through the results of the existing groups.</li> <li>• The production groups run the group funds. Total amount of the funds of 13 groups reached to Rs. 1,323,126.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The agricultural development policy of the Sri Lankan Government remains unchanged.</li> <li>• The activities of the Project are continued by Agricultural Dissemination and Improvement Center.</li> <li>• The farmers are not transferred to other industries.</li> </ul>
<p><b>[Output]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Crop production technology of intercropping in the coconut cultivation is improved.</li> <li>2 Agricultural extension methods is improved by organizing production groups and setting up model demonstration plots in the model areas</li> <li>3 Training materials on the extension methods and crop production technology for extension staff are developed.</li> <li>4 Technical level of the extension staff is improved through the training.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Productivity of unit farm area is increased through the introducing of intercropping.</li> <li>2 Farmers organize production groups and introduce intercropping system independently through the dissemination activities.</li> <li>3 Manuals, guidelines and materials for training are prepared in the each fields.</li> <li>4 Technical level of C/P is improved to prepare the manuals and guidelines by themselves.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Rs 26,390 and Rs 17,700 are able to be gained annually from a quarter-acre of Banana planting and Pineapple planting respectively.</li> <li>2-1 13 production groups (126 members) were organized during the Project period.</li> <li>2-2 As the result of interview survey, 95% of farmers participated in the Project recognized the profitability of the production group.</li> <li>3 Videos, manuals and guidelines were prepared, and were distributed to related agencies.</li> <li>4 C/P prepared "Guideline on fostering production group" by themselves</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Water resources are developed for introducing intercrop.</li> <li>• Farmers are able to enter to direct marketing.</li> </ul>
<p><b>[Activities]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Improvement of cultivation technology (crop adaptability, etc.).</li> <li>1-2 Introduction trials of suitable crops and varieties.</li> <li>1-3 Improvement of cropping system of economic crops.</li> <li>1-4 Improvement of water management technology.</li> <li>1-5 Demonstration of crop production system at verification plot.</li> <li>2-1 Introduction of "the bottom-up extension method".</li> <li>2-2 Promotion of self-motivated production groups in model areas.</li> <li>2-3 Demonstration of the effective extension method.</li> <li>2-4 Evaluation of extension activities.</li> <li>3-1 Development and preparation of training materials necessary for the training and extension work.</li> <li>4-1 Training on the improved extension method for extension personnel and village officers.</li> <li>4-2 Training on the crop production technology and water management technology for extension personnel and the production groups.</li> </ol>	<p><b>[Input]</b></p> <p><b>Japanese side</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Dispatch of Experts 340.37M/M                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① Team Leader</li> <li>② Coordinator</li> <li>③ Agricultural extension</li> <li>④ Upland crop cultivation (Vegetable)</li> <li>⑤ Upland crop cultivation (Other crops)</li> <li>⑥ Water management</li> <li>⑦ Cultivation</li> </ul> </li> <li>- Short Term Experts 10 subjects, 34.93MM</li> <li>2) Donate Implement &amp; Others (X1,000)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- Equipment (Purchased in Japan) JY 73,149</li> <li>- Equipment (Purchased in Sri Lanka) Rs 4,378</li> <li>- Model infrastructure Rs 15,200</li> <li>- Local running cost Rs 9,288</li> <li>- Enlightenment and extension Rs 4,700</li> </ul> </li> <li>3) Overseas Training 21 staffs, 34.93MM</li> </ol>	<p><b>Sri Lankan side</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Counterparts                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① Project Director</li> <li>② Project Coordinator</li> <li>③ Project Deputy Director</li> <li>④ Project Manager</li> <li>⑤ Agricultural extension</li> <li>⑥ Training and development of training materials</li> <li>⑦ Upland crop cultivation (Vegetable)</li> <li>⑧ Upland crop cultivation (Other crops)</li> <li>⑨ Water management</li> <li>⑩ Administrative personnel, Counterpart personnel for each field of short-term experts, and other necessary supporting staff</li> </ul> </li> <li>2) Land, buildings and plots                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- District Training Center at Ambepussa and IRDP office at Gampaha.</li> <li>- Upland model farm, Ambepussa</li> <li>- The verification plot nearby DTC, Ambepussa</li> <li>- Village model demonstration plots in model area</li> <li>- Other land, building and facilities necessary for the implementation of the Project</li> </ul> </li> <li>3) Financial Inputs (x 1,000)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- Local running cost by IDRPs Rs. 27,487</li> <li>- Local running cost by Western Province Rs. 26,629</li> <li>- Local running cost by Western Province Rs. 358</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Trained counterparts continue working for IRDP.</li> </ul> <p><b>[Preconditions]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Project operation committee is organized.</li> <li>• Lecture hall and dormitory are build/renovated.</li> <li>• Farmers in the Project area do not oppose the Project.</li> </ul>

⑤ 作成教材リスト

Year No.	Title	Section
1995	1 Set of slides on vegetable cultivation practices.	Vegetable
1995	2 Set of slides on marketing.	Other crop
1995	3 Hand out on well capacity -DATC farm	Water mgt.
1995	4 Set of slides on Banana root and stem weevil.	Extension
1996	5 Posters for general meetings.	Extension
1996	6 Preparation of group article	Extension
1996	7 Hand out on nursery preparation of Cocoyam	Other crop.
1996	8 Hand out on safety use of water pumps and sprayers.	Water mgt.
1997	9 Hand out on Compost making	Other crop.
1997	10 Hand out on Vegetable crop rotation plan and cropping map in verification farm.	Vegetable
1997	11 Hand out on Vegetable nursery preparation.	Vegetable
1997	12 Hand out on evaluation sheet for Cocoyam cultivation.	Other crop.
1997	13 Hand out on remarks on water management survey.	Water mgt.
1997	14 Hand out on Sweet potato cultivation.	Vegetable
1997	15 Hand out on desirable soil pH range for vegetable cultivation.	Vegetable
1997	16 Hand out on Simple heap method of compost making.	Other crop.
1997	17 Hand out on fertilizer application on chilli and capsicum.	Vegetable
1997	18 Hand out on Audio visual seminar work shop.	Extension
1997	19 Hand out on basic operation of compact camera.	Extension
1997	20 Hand out on farmers self seed production manual.	Vegetable
1997	21 Hand out on book keeping.	Extension
1997	22 Hand out on Banana cultivation.	Other crop.
1997	23 Hand out on pest & disease control on Banana.	Other crop.
1997	24 Video films on Simple heap method of compost making and Razing of Cocoyam nursery.	Extension
1997	25 Set of slides on rapid nursery bed soil making	Crop section
1998	26 Set of slides on treatment of pineapple suckers grading and transplanting.	Crop section
1998	27 Hand out on Dioscorea cultivation including nursery management and diseases	Crop section
1998	28 Hand out on Dioscorea cultivation in Gampaha district	Crop section
1998	29 Hand out on Banana cultivation including cultivation calendar in wet zone.	Crop section
1998	30 Hand out on guideline on fostering of production groups.	Crop section
1998	31 Reference paper for the workshop to make out guideline on fostering production group in the AEIP	Extension
1998	32 Hand out on moisture behavioral pattern	Water mgt.
1998	33 Video films on introduction of AEIP in English and Sinhala edition.	Extension
1998	34 Cropping calendar for Banana cultivation	Extension & Crop

⑥ セミナー・ワークショップ開催実績

Date	Contents	Participants
June, '95	Seminar on the socio-economic condition on the model groups and development of "Sanchi" in Gampaha by Mr. Tokuda(short term expert)	A.I
June, '95	Seminar on present marketing practice of Gampaha farmer and future prospects by Mr. Tani (Short term expert )	A.I
June '95	Seminar on training system at AEIP by Mr. Hiratsuka ( " )	A.I
Mar. '96	Seminar on training plan making by Mr. Haga ( " )	A.I
April '96	Vegetable cultivation, other crops cultivation and water management	A.I
May '96	Vegetable cultivation, other crops cultivation and water management	A.I
July '96	Vegetable cultivation, other crops cultivation and water management	A.I
July '96	Seminar on market survey and crop selection by Mr. Nibe (long term exp.)	A.I & C/P
July '96	Seminar on extension methodology by Mr. Hanebuchi (long term expert)	A.I & C/P
Aug. '96	Vegetable cultivation, other crops cultivation and water management	A.I
Sept. '96	Vegetable cultivation, other crops cultivation and water management	A.I
Oct. '96	Vegetable cultivation, other crops cultivation and water management	A.I
Nov. '96	Practice of pH measurement	A.I
Nov. '96	Cocoyam cultivation and Camera control method	A.I
Dec. '96	Seminar on disease control by Mr. Kasai (Short term expert)	A.I
Jan. '97	Practice of Compost making	A.I
Feb. '97	Farmer's day	A.I & farmer
Feb. '97	Cocoyam cultivation and plant protection on vegetable	A.I
Mar. '97	Ginger and yard long bean cultivation and nursery bed soil making	A.I
Apr. '97	Mixed crop of chili and cocoyam, sweet potato seedling production, corn cultivation	A.I
May '97	Compost making, passion fruit cultivation, chili seedling production	A.I
May '97	Seminar on soil structure improvement by Mr. Ono (short term exp.)	A.I
June '97	Practice of Compost making, fertilizer application methods	A.I
July '97	Seminar on audio visual handling methods by Mr. Takashina(short term expert)	A.I
July '97	Seminar on project management by Mr. Takahashi (long term exp.)	A.I & C/P
Aug. '97	Pineapple sucker control, vegetable seeds seed production	A.I
Aug. '97	Seminar on vegetable production in coconut field by Mr.Nishino	A.I & C/P
Sep. '97	Role of group leader, fund book keeping, and nursery management.	A.I & farmer
Oct. '97	Visiting project site from Kurunegala Agricultural Instructor	A.I
Oct. '97	Banana cultivation and its extension.	A.I
Nov. '97	Passion fruit and betel leaf cultivation and its extension.	A.I
Dec. '97	Banana cultivation and its extension.	A.I & farmer
Jan. '98	Ginger and <i>Dioscoreaceae</i> crops cultivation and its extension.	A.I
Feb. '98	Chili cultivation and its extension.	A.I & farmer
Feb. '98	Cocoyam cultivation.	A.I

⑥ セミナー・ワークショップ開催実績

Date	Contents	Participants
Mar. '98	Water pump control and maintenance.	Pump holder
June. '98	Work shop on guideline making for the fostering of production group.	A.I
July. '98	Agricultural products market, its capitals and subsidies.	A.I & farmer
July. '98	Work shop on guideline making for the fostering of production group.	A.I
Aug. '98	Work shop on guideline making for the fostering of production group.	A.I
Sep. '98	Seminar on cocoyam disease protection by Dr. Yoneyama (short term exp.)	A.I
Nov. '98	Group fund book keeping method.	A.I
Nov. '98	Seminar on farm management by Mr. Takao(short term expert)	C/P, A.I.
Jan. '99	Group fund book keeping method.	A.I
Mar. '99	Group fund book keeping method.	A.I & farmer

⑦ 機材リスト (携行分・供与分)

a) 機材リスト (携行分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
94	PERSONAL COMPUTER LC75 8MB	1SET	308,200	J	ADM	A	A
94	PRINTER LLH220C BJ-220JC	1PCE	78,800	J	ADM⇒CP	A	A
94	JAPANESE SOFTWARE MAC EG WARD	1PCE	54,850	J	ADM	A	A
94	SOFTWARE WORD FOR MAC (ENGLISH)	1PCE	54,250	J	ADM	A	A
94	SOFTWARE EXCEL FOR MAC	1PCE	50,600	J	ADM	A	A
94	TRANSFORMER(KD-200)	1PCE	11,500	J	ADM	A	A
94	SOIL SAMPLER DIK-1600	1PCE	58,700	J	WTM	A	A
94	HANDLE FOR SOIL SAMPLER	1SET	26,400	J	WTM	A	A
94	SAMPLE CUP DIK-1801	3SETS	16,800	J	WTM	A	A
94	SOIL WATER MEASURE DIK- 8320 30cm	5PCS	47,000	J	WTM	A	A
94	SOIL WATER MEASURE DIK- 8320 50cm	5PCS	47,000	J	WTM	A	A
94	CUP18mmWITH JOINT	5PCS	10,000	J	WTM	A	A
94	INFRARED MOISTURE DERMINATION	1PCE	162,000	J	WTM	A	B
94	SOFTWARE E-J BANK	2SETS	130,400	J	CP	A	B
94	IMAGE SCANNER GT600WIN	1PCE	74,000	J	CP	A	A
94	INTERFACE	1PCE	17,000	J	CP	A	A
94	FLOPPY DISK 3.3	1BOX	4,050	J	ADM	A	A
94	FLOPPY DISK 5	5BOXE	2,850	J	ADM	A	A
94	CALUCULATAOR EL-546G	5PCS	18,850	J	WTM	A	A
94	GLOBAL POSITIONING SYSTEM	1PCE	134,000	J	WTM	A	A
94	ALUMINIUM STAFF K-55 5m	1PCE	4,720	J	WTM	A	A
94	ALUMINIUM STAFF K-33 3m	1PCE	2,900	J	WTM	A	A
94	LEVEL 130mm	1PCE	1,860	J	WTM	A	A
94	AUTOMATIC LEVEL KS-2	1PCE	49,980	J	WTM	A	A
94	WATER GARE FM-30T	1PCE	20,000	J	WTM	A	A
94	MEASURING TAPE 20m	1PCE	1,440	J	WTM	A	A
94	MEASURING TAPE 50m	1PCE	3,070	J	WTM	A	A
94	SURVEYORS ROPE 30m	1PCE	1,060	J	WTM	A	A
94	SURVEYORS ROPE 100m	1PCE	3,000	J	WTM	A	A
94	STOPWATCH SVAD 001	1PCE	4,880	J	WTM	A	A
94	PLANIMETER KP-92N	1PCE	46,750	J	WTM	A	A
94	POLE 25mm	3PCS	11,220	J	WTM	A	A
94	CURVIMATER	1PCE	2,880	J	WTM	A	A
94	SLANT RULE	1PCE	920	J	WTM	A	A
94	SOIL HANDNESS TESTER H-	1PCE	58,600	J	CP	A	A
94	PH METER PHS-120	1SET	117,300	J	CP	A	A
94	ELECTRODE 6550	1PCE	29,000	J	CP	A	A
94	ELECTRODE 5080L	2PCS	10,400	J	CP	A	A
94	STANDARD LIQUID PH4.0	2PCS	3,450	J	CP		
94	STANDERD LIQUID PH6.86	2PCS	3,450	J	CP		
94	FILTER WF-600	1PCE	34,200	J	CP	A	A
94	WATER PURIFIER STILL-N2, TRANSFORMER	1PCE	215,000	J	CP	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\*現地調達の場合は金額の単位はRs



a) 機材リスト (携行分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
94	ELECTRONIC BALANCE EB-4300DW	1PCE	163,000	J	CP	A	A
94	NEW SOIL NUTRIENT TESTER	2SETS	26,000	J	CP	A	B
94	BOOK	10VOLS	47,200	J	CP	A	B
94	CAMERA OZ-280 G-D	1PCE	28,000	J	EXT	A	A
94	SLIDE PROJECTOR	1SET	40,000	J	EXT	A	A
94	PAPER CUTTER	2PCS	28,000	J	EXT	A	A
94	OHP C-250 P	1SET	141,000	J	EXT	A	A
94	TRANSFORMER(K D A 60 TOYOZUMI)	1PCE	6,000	J	EXT	A	A
95	VIDEO CAMERA NV-M3000EN	1SET	161,300	J	EXT	A	A
95	BATTERY PACK FOR ABOVE	3PCS	25,650	J	EXT	A	A
95	HARD CASE	1PCE	26,600	J	EXT	A	A
95	TAPE RECORDER TCM-1390	1PCE	45,000	J	EXT	A	A
95	SPARE REAGENT FOR DR. SOIL	5PCS	69,500	J	CP	A	B
95	TAPE MEASURE(2m)	5PCS	2,700	J	CP	A	
95	REFLECTOR MODEL N-1	5PCS	65,500	J	CP	A	A
95	CAMERA CANON EOS-100	1PCE	68,800	J	EXT	A	A
95	NUNBERING MACHINE IS-M71	1PCE	5,600	J	ADM	A	A
95	TAG(NAFU-25)	100PCS	7,900	J	ADM		
95	SEEDRING PLASTIC POT	10000PCS	30,000	J	CP	A	A
95	HOSE WITH STOPPER.COUPLING.BAND	11PCS	737,000	J	CP		
95	HOSE REEL	11UNI	539,000	J	CP	A	B
95	SEEDRING PLASTIC POT(12cm)	15000PCS	75,000	J	CP	A	A
95	SEEDRING PLASTIC POT(15cm)	10000PCS	70,000	J	CP	A	A
95	WATER SPRAYER	10PCS	102,000	J	CP	A	A
95	VICTORIA LAWN DRIP IRRIGATION(1mm)	3PCS	66,000	J	CP	A	B
95	VICTORIA LAWN DRIP IRRIGATION(2mm)	3PCS	45,000	J	CP	A	B
96	SOIL HANDNESS METER	7PCS	315,000	J	CP	A	B
96	ILLUMINATIONMETER T-1H	1PCE	97,200	J	CP	A	B
96	EC METER	1PCE	144,000	J	CP	A	B
96	REFLECTOR 0-16%	1PCE	14,000	J	CP	A	A
96	REFLECTOR 0-32%	1PCE	13,200	J	CP	A	A
96	SCREEN MT-V060	1PCE	29,000	J	EXT	A	A
96	LASER POINTER UL-100H	1PCE	15,200	J	EXT	A	A
96	SLIDE FILE 35mm BINDER POCKET II	10PCS	29,000	J	EXT	A	A
96	PAPER CUTTER 113-0121	1PCE	15,300	J	EXT	A	A
96	PHOTO FILE 150-6151	10PCS	24,600	J	EXT	A	A
96	O.H.P.SUPPLY SET	2PCS	29,800	J	EXT	A	A
96	T.P.FILE TP-20	5PCS	25,900	J	EXT	A	A
96	COLOR T.P.A4 135-1000	5PCS	16,500	J	EXT	A	A
96	T.P.PEN SIMPLE TYPE, WATER PAINT	2PCS	1,600	J	EXT		

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

a) 機材リスト (携行分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
96	T.P.PEN SIMPLE TYPE, OIL PAINT	2PCS	1,800	J	EXT		
96	PENCIL TYPE WATER PAINT	2PCS	1,360	J	EXT		
96	PENCIL TYPE OIL PAINT	2PCS	1,360	J	EXT		
96	SLIDE FILM RHP 135-36	2PCS0	23,600	J	EXT		
96	RUPE(X10)	10PCS	10,000	J	EXT	A	A
96	DOUBLE SLIDE TAPE 40mm	10PCS	6,200	J	EXT		
96	DOUBLE SLIDE TAPE 20mm	10PCS	4,300	J	EXT		
96	MARKER(COLOR)	15PCS	1,650	J	EXT		
96	MARKER(WHITE)	5PCS	650	J	EXT		
96	PHOTO ALBUM 7-DK-A4	20PCS	32,400	J	EXT	A	A
96	8mm VIDEO TAPE	10V	7,500	J	EXT	A	A
96	CAMERA "NEW ZOOM" DELUX ORIMPAS	7PCS	175,000	J	EXT	A	A
96	INDIA INK (200cc)	20PCS	9,400	J	EXT		
96	BRUSH(MIDDLE SIZE)	10PCS	12,800	J	EXT	A	A
96	BRUSH(SMALL SIZE)	10PCS	6,800	J	EXT	A	A
96	PERSONAL COMRUTER POWER BOOK 1900S/66	1SET	215,000	J	EXT	A	A
96	SOFTWARE (MS-OFFICE STANDARD)	1PCE	58,000	J	EXT	A	A
96	MEMORYMODULE ADM8MPB19 ADTEC	1PCE	16,000	J	EXT	A	A
96	TRANSFORMER CD220-01	1PCE	10,000	J	EXT	A	A
96	INK CARTRIDGE M4609G/A APPLE	5PCS	12,000	J	EXT	A	A
96	FLOPPY DISK MF2HD	1BOX	1,500	J	EXT	A	A
96	PRINTER M4428J/A	1SET	35,000	J	EXT	A	A
96	LOUD SPEAKER AMPLIFER UNIT WA-620	1SET	50,500	J	EXT	A	A
96	TUNER UNIT WTU-761	1SET	24,500	J	EXT	A	A
96	WIRESS MICROPHONE WM-260	1PCE	39,000	J	EXT	A	A
96	PVC PIPE	1SET	41,024	J	LAB	A	A
96	TRIPOD VCT-850RM SONY	1PCE	13,200	J	EXT	A	A
96	VIDEO HANDYTAPE HISHANDYCOM CCD-TRV201	1PCE	198,000	J	EXT	A	A
96	ACCESORRIES KIT ACC KIT-F7	1PCE	16,200	J	EXT	A	A
96	CARRYING CASE LCH-TRA	1PCE	10,500	J	EXT	A	A
96	CAMERA EOS 55BODY CANON	1PCE	77,300	J	EXT	A	A
96	LENZE EF 50mm/F2.5	1PCE	33,700	J	EXT	A	A
96	ZOOM LENZE EF28 105/F3.5 4.5 USM	1PCE	45,600	J	EXT	A	A
96	Personal Computer Power book 400GS-117	1PCE	365,000	J	ADM	A	A
96	Printer BJC-35V II	1PCE	42,000	J	ADM	A	A
96	Transformer	1PCE	12,000	J	ADM	A	A
96	Ink BC-10 Black	2PCS	6,400	J	ADM	A	A
96	Ink BC-10 Color	2PCS	7,400	J	ADM	A	A
96	Software MS-Office	1PCE	58,000	J	ADM	A	A
96	Software File Maker	1PCE	32,000	J	ADM	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

a) 機材リスト (携行分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
96	Cable	1PCE	6,900	J	ADM	A	A
96	Dictionary	2PCS	8,650	J	ADM	A	A
96	Tension Meter	10PCS	65,900	J	WTM	A	A
96	Tension Cup	5PCS	10,000	J	WTM	A	A
96	Drill Chuck	3PCS	6,630	J	WTM	A	A
96	EXTENSION PIPE	5PCS	4,200	J	WTM	A	A
96	Drill	3BOX	5,670	J	WTM	A	A
97	T.V.Signal Converter CDM-620 (FOOD)	3PCS	114,000	J	EXT	A	A
97	Transformer MF-2000E(NIHON)	1PCE	31,000	J	EXT	A	A
97	Cable BNC-BNC	10PCS	12,000	J	EXT	A	A
97	8mm VIDO TAPE P6-120 HHP2	10PCS	7,500	J	EXT	A	A
97	AUDIO COMPORNENT MHC-G88	5PCS	51,000	J	EXT	A	A
97	TRIPOD E-3L (MYNETE)	1PCE	24,000	J	EXT	A	A
97	CD for BGM CM BANK vol.1~12	1PCE	63,000	J	EXT	A	A
97	MIXER MI-A40 (VICTOR)	1PCE	8,300	J	EXT	A	A
97	Reversal Film DYNA EX200 KODAK	30PCS	26,700	J	EXT	A	A
97	Color Film SUPER G200 FUJI	10PCS	6,600	J	EXT	A	A
97	Stationery Set	1set	18,000	J	EXT	A	A
97	Technical Book	5set	44,500	J	EXT	A	A
97	Double Video Deck WV-TW2 (SONY)	1SET	112,000	J	EXT	A	A
97	Television KV-G14M1 (SONY)	1SET	30,000	J	EXT	A	A
97	Tripod LIBEC 60 (HEIWA)	1SET	144,000	J	EXT	A	A
97	Wireless Microphon WRT-820 WRR810(SONY)	1SET	170,000	J	EXT	A	A
97	Digital Steel Camera DSC-V1 (SANYO)	1SET	70,000	J	EXT	A	A
97	Connection Kit for P/C PCK-V1 (SANYO)	1SET	7,000	J	EXT	A	A
97	LPD Studio&Location Light Tropical LT-500	1PCE	35,600	J	EXT	A	A
97	LPD Video Telopper VT-2000 with Telop Camera	1PCE	156,000	J	EXT	A	A
97	LPL Copy Stand CS-40	1PCE	19,500	J	EXT	A	A
97	Refrecting Glass type:CABINE	2PCS	7,200	J	EXT	A	A
97	Refrecting Glass type: B4	2PCS	8,640	J	EXT	A	A
97	Lanp for LPL Studio&Location TL- 500 Light	10PCS	29,500	J	EXT	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

b) 機材リスト (供与分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
94	SOIL THREE PHASE METER DIK-1211	1UNIT	438,000	J	WTM/CP	A	A
94	SAMPLING TUBE DIK-1801	10SETS	149,000	J	WTM	A	A
94	SOIL SAMPLER DIK-1600	2PCS	105,000	J	WTM	A	A
94	JOINT, SOIL SAMPLER FOR	2SETS	47,000	J	WTM	A	A
94	SUPPLEMENTAL SOIL SAMPLER DIK-1630	3PCS	27,000	J	WTM	A	A
94	HAND SHOWEL DIK-1670	3PCS	48,000	J	WTM	A	A
94	BORING STICK DIK-1640	3PCS	156,000	J	WTM	A	A
94	TENSIONMETER DIK-3100	36SETS	680,400	J	WTM	A	A
94	PARTS FOR TENSIONMETER	1PCE	467,400	J	WTM	A	A
94	PF METER DIK-8330 (20cm)	30PCS	249,000	J	WTM	A	A
94	PF METER DIK-8330 (40cm)	30PCS	249,000	J	WTM	A	A
94	CUP, TENSIONMETER	60PCS	109,200	J	WTM	A	A
94	PLANE TABLE TPT-SET	1PCE	30,000	J	WTM	A	A
94	CYLINDRICAL INTAKEMATER DIK-4200	1SETS	253,000	J	WTM	A	A
94	OUTSIDE FRAME CYLINDER 450XH300mm	1PCE	36,000	J	WTM	A	A
94	DRIVING PLATE W470XD470XT9mm	1PCE	25,000	J	WTM	A	A
94	MARRIOTT TANK 801	1UNIT	138,000	J	WTM	A	A
94	WATER LEVELMETER FM-30R	3PCS	130,500	J	WTM	A	A
94	ALUMINUM STAFF K55-1W	2PCS	18,000	J	WTM	A	A
94	ALUMINUM STAFF K33-1W	2PCS	11,900	J	WTM	A	A
94	MEASUREING TAPE OTR20R	2PCS	6,000	J	WTM	A	A
94	MEASUREING TAPE OTR50R	2PCS	10,200	J	WTM	A	A
94	PLANMATER KP-92N	2PCS	105,400	J	WTM	A	A
94	INK RIBON JW-Z200	30PCS	78,000	J	WTM	A	A
94	TINE CULTIVATOR TSC-9	1UNIT	273,500	J	CP	A	A
94	SUBSOILLER 3Q-2	2UNITS	652,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	SPRAYER, BACK PACK TYPE MHD17	5UNITS	127,500	J	CP⇒DATC	A	A
94	TOOL SET SHS5700	1SET	57,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	SOCKET WRENCH SET B408	1SET	35,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	PISTON RING TOOL RT-45	1SET	1,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	PISTON RING COMPRESSOR	1SET	2,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	STANDARD FEELER GAUGE	1SET	3,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	GEAR PULLER T-26	1UNIT	8,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	CLUTH ALIGNER HC-25	1SET	15,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	PITMAN-ARM PULLER H228	1SET	20,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	OIL FILTER WRENCH KW-200	1PCE	4,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	OIL FILTER WRENCH KW-300	1PCE	5,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	TORQUE WRENCH F-920	1PCE	10,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	TORQUE WRENCH F-1300	1PCE	13,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	TORQUE WRENCH F-2800	1PCE	17,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	TIE-ROD AND LIFTER TR-15	1PCE	6,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	TIE-ROD AND LIFTER TR-25	1PCE	10,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	HAMMER, COPPER CO-20	1PCE	6,000	J	CP⇒DATC	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

b) 機材リスト (供与分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
94	HAMMER, PLASTIC PH-4	1PCE	2,500	J	CP⇒DATC	A	A
94	UNINERSAL WHEEL HUB PULLER T-22	1SET	25,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	CYLINDER LINER PULLER CLP-	1SET	90,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	VERNIER CALIPER BSC-15	1PCE	5,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	FIRM-JOINT CALIPER CI-30(I)	1PCE	1,200	J	CP⇒DATC	A	A
94	FIRM-JOINT CALIPER CO-30(O)	1PCE	1,200	J	CP⇒DATC	A	A
94	BATTERY HYDROMETER SET HM-100	1SET	8,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	CHAIN BLOCK CF020	1UNIT	33,000	J	CP⇒DATC	A	A
94	HYDRAULIC JACK M-300M	1UNIT	69,700	J	CP⇒DATC	A	A
94	BUSH CUTTER MB320U-C	5UNITS	300,000	J	CP	A	A
94	SPARE PARTS	5SETS	30,000	J	CP	A	A
94	SPARE BLADE	25PCS	22,000	J	CP	A	A
94	SHADING NET NO.120	10ROLL S	460,000	J	CP		
94	SHADING NET NO.150	5ROLLS	338,000	J	CP		
94	SHADING NET NO.600	5ROLLS	250,000	J	CP		
94	SHADING NET NO.610	10ROLL S	670,000	J	CP		
94	MICROSCORPE X2F-21	1SET	735,000	J	CP	A	A
94	ACCESSORY	1SET	612,000	J	CP	A	A
94	SPARE HALOGEN LANP	10PCS	28,000	J	CP	A	A
94	OIL A50cc	5PCS	12,000	J	CP	A	A
94	STEREO MICRO SCORPE SMZ-	1SET	637,700	J	CP	A	A
94	SACCHAROMETER N1	1PCE	9,800	J	CP	A	B
94	SACCHAROMETER N2	1PCE	10,500	J	CP	A	B
94	SACCHAROMETER N3	1PCE	12,000	J	CP	A	A
94	PH METER M-11	2SETS	242,800	J	CP	A	A
94	ELECTRODE 3-in-1 6366-10D	2SETS	41,000	J	CP	A	A
94	PH FOR POWDER PH4 150-4	2SETS	5,300	J	CP	A	A
94	PH FOR POWDER PH7 150-7	2SETS	5,300	J	CP	A	A
94	PH METER D-11	2SETS	186,600	J	CP	A	A
94	2YEAR SPARE PARTS	2SETS	229,000	J	CP	A	A
94	OVEN DRYER DS410	1SET	237,000	J	CP	A	A
94	INCUBATOR IN-600	1SET	347,000	J	CP	A	A
94	STERILIZER SP-450	1SET	168,000	J	CP	A	B
94	WATER STILL WG 220	1SET	486,000	J	CP	A	A
94	WATER SUPPLY UNIT	1SET	20,000	J	CP	A	A
94	MEMBRANE FILTER	5PCS	42,000	J	CP	A	A
94	PRETRESTMENT CARTRIDGE	5PCS	37,500	J	CP	A	A
94	ION CARTRIDGE	5PCS	70,000	J	CP	A	A
94	SCALE REMOVER	5PCS	10,500	J	CP	A	A
94	INSECT TRAP MC8200	3SETS	90,000	J	CP	A	B
94	SCOOP NET D40-3206	1PCE	12,900	J	CP	A	A
94	SHAKER SB-12	1PCE	497,100	J	CP	A	A
94	THERMOMATER 53-03-52	10PCS	11,000	J	CP	A	A
94	THERMOMATER 70-24-21	10PCS	28,300	J	CP	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

b) 機材リスト (供与分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
94	BEAKER 100ml	100PCS	15,500	J	CP	A	A
94	BEAKER 300ml	100PCS	21,000	J	CP	A	A
94	BEAKER 500ml	50PCS	16,000	J	CP	A	A
94	BEAKER 1000ml	20PCS	12,900	J	CP	A	A
94	FLASK 100ml	10PCS0	25,000	J	CP	A	A
94	FLASK 300ml	100PCS	31,000	J	CP	A	A
94	FLASK 500ml	50PCS	22,000	J	CP	A	A
94	FLASK 1000ml	20PCS	16,000	J	CP	A	B
94	DISH, CULTURE 75X20mm	2BOXE	58,500	J	CP	A	A
94	TEST TUBE 21X200mm	4BOXE	42,800	J	CP	A	B
94	PORTABLE METEOROLOGICAL MONITORING				CP⇒WTM		
94	SYSTEM						
94	WIND SENSOR K34D	2PCS	264,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	ANEMOMETER SENSOR	2PCS	308,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	THRMMOMETER SENSOR K31	2PCS	178,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	HYGROMETERSENSOR K32	2PCS	264,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	PLUVIOMETER SENSOR K35	2PCS	272,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	THRMMOMETER SENSOR K37	2PCS	214,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	SUSSHINE SENSOR K37	2PCS	258,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	RECORDER C645	2UNITS	1,400,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	NOTE COMPUTER	2UNITS	242,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	PRINTER	2UNITS	70,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	DATA PROCESSING SOFT	SET	140,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	CASE FOR RECORDER	2PCS	71,400	J	CP⇒WTM	A	A
94	BALL	2SETS	170,600	J	CP⇒WTM	A	A
94	BASE FOR RAIN GAUGE	2UNITS	42,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	DURALUMIN BOX	2PCS	100,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	BATTERY	2PCS	42,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	TOOL	2SETS	42,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	ENGLISH OPERATION MANUAL	2COPY	71,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	PAPER AND RIBON	2SETS	71,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	EVAPORATIOM MEASURING APPARATUS				CP⇒WTM		
94	EVAPORATION MEASURING APPARATUS	3PCS	390,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	PLUVIOMETER SENSOR K35	3PCS	369,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	SUSSHIN SENSORK37	3PCS	1,125,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	EVAPORATION D-211	3UNITS	2,011,800	J	CP⇒WTM	A	A
94	RECORDER C645	3UNITS	81,600	J	CP⇒WTM	A	A
94	DATA PROCESSING SOFT	1SET	136,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	CASE FOR RECORDER	3PCS	102,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	BASE FOE RAIN GAUGE	3UNITS	60,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	BATTRY (DC12V40AH)	3PCS	60,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	TOOL	3SETS	60,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	ENGLISH OPERATION	3COPY	102,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	PAPER AND RIBON	3SETS	60,000	J	CP⇒WTM	A	A
94	MITSHUBISI PICK UP TRUCK	4UNITS	6,000,000	J	ADM	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

b) 機材リスト (供与分)

年度	機材名、型式、メーカー名等	数量	合計金額	調達地	管理・利用場所/ 配置移転状況	管理 状況	利用 状況
94	SPARE PARTS FOR MITSUBISI PICK UP	4LOTS	600,000	J	IRDP	A	A
94	SUBARU IMPREZA STATION WAGON	2UNITS	2,400,000	J	ADM	A	A
94	SPARE PARTS FOR SUBARU IMPREZA	2LOTS	240,000	J	IRDP	A	A
94	KUBOTA RK 80 2WHEEL TRACTOR	2UNITS	444,000	S	CP	A	A
94	STEEL BODY TRAILER FOR KUBOTA	2UNITS	76,800	S	CP	A	A
94	REVISSIBLE PLOUGH	2UNITS	47,760	S	CP	A	A
94	CANON PLAIN PAPER COPIERS NP3020	2UNITS	548,000	S	ADM	A	A
94	SUPERFAX COPY PRINTER 6700	1UNIT	410,000	S	ADM	A	A
94	CANON TYPEWRITER AP8500	1UNIT	119,950	S	ADM⇒IRDP	A	A
94	SEAL BOY 12	1UNIT	13,250	S	CP	A	A
94	IBM PERSONAL COMPUTER 350	3UNITS	396,129	S	EX,CP,IRDP	A	A
94	EPSON PRINTER LQ1170	3UNITS	126,960	S	EX,CP,IRDP	A	A
94	PAPER CUTTER ACE NO.1	2UNITS	13,900	S	ADM	A	A
94	HEAVY DUTY STAPLER 1240	2UNITS	11,380	S	ADM	A	A
94	HEAVY DUTY PUNCHER	2UNITS	5,380	S	ADM	A	A
94	AVERY BERKEL CC62D	2UNITS	176,400	S	WMT,CP	A	A
94	AVERY BERKEL DB33	1UNITS	88,200	S	CP	A	A
94	AVERY H302/L115	1UNITS	80,100	S	CP	A	A
94	MICRO WAVE OVEN MA1066	2UNITS	438(US)	S	CP,DATC	A	A
94	REFRIGERATOR	2UNITS	1090(US)	S	CP,DATC	A	A
94	DAFUHAO ELECTRONIC SAFE	1UNITS	18,100	S	ADM	A	A

ADM-Administration EXT-Extension CP-Crops WTM-Water Management ⇒-Trancefer

\* 現地調達の場合は金額の単位はRs

### 3 合同調整委員会および運営委員会

#### (1) Joint Coordinating Committee

The committee meetings were held usually once a year and when necessity arose;

- a). for the purpose of giving direction and guidance, and to review and approve annual work plan and the financial plan under the frame work and also, reviewed overall progress as the achievements of the annual work plan.

#### Composition:

- |              |  |
|--------------|--|
| Chair person | - Director General-Regional Development<br>Ministry of Plan Implementation.  |
| Secretary    | - Director-Regional Development, Ministry of Plan<br>Implementation.   |
| Members      | - a). Deputy Commissioner (Western Province)<br>Dept. of Agrarian Services<br><br>b). Representative-Dept. of External Resources<br>Ministry of Finance<br><br>c). Director-Horticulture Research & Development<br><br>d). Director- Dept. of Export Agriculture Development<br><br>e). Director-Coconut Research Institute<br><br>f). Provincial Director-Agricultural Development<br>Authority.<br><br>g). Regional Manager-Coconut Cultivation Board-<br>Gampaha.<br><br>h). Chief Secretary-Western Province<br><br>i). Secretary-Ministry of Agriculture and Lands (W.P.).<br><br>j). Provincial Director-Agriculture (W.P.)<br><br>k). Director-IRDP-Gampaha |

#### Japanese Side

- a). Japanese Experts  
b). Representative of JICA



(2) Project Operation Committee:

The fundamental process of activities of steering the project was carried out by the project operation committee which regularly met on monthly basis. The committee played a major role for the effective and smooth implementation of the project.

- a). Chair person - Director, Gampaha Integrated Rural Development Project.
- b). Vice Chair Person- Provincial Director, Dept. of Provincial Agriculture (W.P.)
- c). Secretary - Director, of Agricultural Technology Transfer Center-Morena
- d). Japanese Experts
- f). Deputy Provincial Director, Agriculture-Gampaha
- g). Asst. Commissioner-District Agrarian Services Department-Gampaha
- h). Regional Manager- Coconut Cultivation Board-Gampaha
- i). Research Officer- Coconut Research Institute
- j). Asst. Director- District Agricultural Training Centre-Ambepussa.

4 プロジェクト要員配置（評価時・終了後）

(1) プロジェクト実施中の要員配置

C/P 15人のうち、常勤、非常勤の配置

チームリーダー

Mr.S.Rahubatta(RDD director)	非常勤
Mr.W.L.Siriwardena(IRDP Director)	非常勤
Mr.Nandana K. Jayasiri (Deputy Secretary of W.P)	非常勤

調整員

Dr.T.Ranasingha(Director of Agriculture Department W.P.)	非常勤
Mr.B.A.C.Somawardena(IRDP Deputy Project director)	半常勤

普及部門

Mr.L.M.Somawardena(Assistant Provincial director of Agriculture)	半常勤
Mr.H.S.A.P.Peris(Assistant Provincial Director of Agriculture, W.P)	半常勤
Mr.S.A.Prematilaka(Agriculture Instructor)	常勤
Ms.K.U.M.Champika(Development Assistant of IRDP)	常勤

栽培部門

Mr.K.W.S.Wickramatilaka(Agriculture Instructor)	常勤
Mr.S.Jayakody(Agriculture Instructor)	常勤
Mr.B.K.K.Jayamewan(Agriculture Instructor)	常勤
Mr.R.M.W.K.Rathnayaka(Development Assistant of IRDP)	常勤
Ms.Ranjani Perera(Agriculture Instructor)	常勤

水管理部門

Mr.W.M.Tilakaratna(Agriculture Instructor)	常勤
--	----

(2) プロジェクト終了後の要員配置

Dr.T.Ranasingha(Director of Agriculture Department W.P.)	非常勤
普及部門	
Mr.H.S.A.P.Peris(Assistant Provincial Director of Agriculture,W.P)	半常勤
Mr.S.A.Prematilaka(Agriculture Instructor)	常勤
Ms.K.U.M.Champika(Development Assistant of IRDP)	常勤
栽培部門	
Mr.K.W.S.Wickramatilaka(Agriculture Instructor)	常勤
Mr.S.Jayakody(Agriculture Instructor)	常勤
Mr.R.M.W.K.Rathnayaka(Development Assistant of IRDP)	常勤
Ms.Ranjeni Perera(Agriculture Instructor)	常勤
水管理部門	
Mr.W.M.Tilakaratna(Agriculture Instructor)	常勤